

週報

2016年17号(4月24日～4月30日)

2016年度宣教テーマ(案)

「世のために」
ヨハネによる福音書3章16節～17節

< 巻頭言 >

『教会～地の塩、世の光～』

マタイによる福音書5章13節～16節

イエス様に従ってきた大勢の群衆と、近寄ってきた弟子たちに向かって、イエス様は、「あなたがたは地の塩、世の光である」と言われました。それは、「なりなさい」という命令でも、「なれるかもしれない」という可能性でもなく、宣言でした。

「地の塩」「世の光」であるとはどういうことでしょうか。塩は、調味料として、また防腐剤として用いられてきました。それは、塩味があり、また腐敗を防ぐ力があつたからです。すなわち「地の塩である」とは、「この地を清め、保ち、ととのえる」存在だということです。一方、光には、暗闇を照らし、明るさを与える力があります。光によって私たちは、様々なものを認識し、迷わず歩むことができます。「世の光である」とは「この世を照らし、この世に明るさを与える」存在だということです。

なぜ、群衆や弟子たちが、「地の塩」「世の光」なのでしょう。それは、彼らが、イエス様に望みをかけていたからです。ある人は病の癒しを、ある人は悪霊からの解放を、ある人は悩みの解決を。皆、貧しさに悩み、切羽詰まった事情を抱えていました。でも、そんな彼らだからこそ、「地の塩」「世の光」と言われたのです。

イエス様を拒む世の中で、彼らは、他の何ものでもなく、イエス様に望みをかけて従ってきたのです。だから、「地の塩」「世の光」と呼ばれたのです。ここに、あるべき教会の姿が語られています。教会は、いつも、いつまでも、イエス様に望みをかける群れです。困って悩んで、イエス様に助けを求めてやってくる、その姿を、覚えておきたいと思うのです。

(村田悦牧師)



教会創立 1950年8月7日(教会組織)

日本バプテスト連盟 大分キリスト教会

〒870-0045 大分市城崎町2丁目6番22号

Tel/097-532-4240 Fax/097-529-5240 牧師 村田 悦

http://blogs.yahoo.co.jp/oita_baptist_church

Mail:oitabap@violin.

ocn.ne.jp